

13 週 人の悲惨な状態

質問 19. 墮落した状態の人は、どんな悲惨に置かれていますか。

答え I 墮落によって全人類は、神との交わりを失い、神の怒りと呪いの下に置かれるようになり、そのため、この世でのあらゆる悲惨と、死そのものと永遠の地獄の刑罰との責めを負わされています。

解説

神との交わりを失ってしまった

アダムとエバの罪は、私たちに神との交わりを失うようにさせました(創3:8)。アダムは神との緊密な交際を味わい、恵みを受けていました。彼は神との交わりによって幸せな状態にいました。しかし罪が、私たちを、神がくださる有益から追い出しました。神の形を失ってしまった時、神との交わりも失いました。

神はアダムとエバを、エデンの園から追放しますが、それは、私たちが神の恵みから追放されたことを見せてくれます。罪によって、神との交わりが断絶された理由は、神は聖であり、義であるので、罪人と共にいることができず、罪人となった人間は、聖を嫌うからです。人生の目的は、神との交わりです。そうなので、神との交わりを喪失したことは、一番の大きなものを失ったことです。

サタンの支配下に置かれる

本性上私たちは、サタンの支配下に置かれるようになってしまいました。罪によって人は、サタンの奴隷となりました。回心する以前のすべての人は、サタンの命令の下にいます。サタンは、自分の意図のままに人をコントロールします。サタンは、人のすべての機能に力を発揮し支配します。人の理解力を無知にさせ、暗くさせ、自分に服従させます。それで、誤りの道でも見分けられず、その中に留まるようにし、罪を犯させます。

サタンは、人間の意志を支配します。人間を誘惑し、その心に情欲で満ちるようにし、その情欲に従って動くようにさせ、神の法を犯すようにさせます。サタンは、人間の心に独裁者のように君臨します。結局サタンは、人間を自分の支配下に不従順の子らにさせます。

神の怒りと呪いの下に置かれている

神の怒りと呪いの下に置かれるようになりました（エペソ 2:3、ガラテヤ 3:10）。神の怒りの下にいるとは、神は、罪人である人を嫌うということです。神の怒りとは、この地での生活が苦くて苦痛だらけです。これは、人の目に見えたりも、時には見えなかったりします（ヨハネ 3:36、エペソ 2:3、詩 11:5）。時には、病気の状態から神の怒りを感じます。この時の良心は、相当な苦しみと、恐れの中にあることになります。

エリ祭司と、その息子たちに注がれた神の怒りは、それは恐ろしいものでした。神の怒りは、呪いと共にいきます。神の呪いの下にいるとは、神の正しい法に基づく、呪いの下にいるということです。これは、悪い罪人らに対する強力な宣言です（ガラテヤ 3:10、詩 7:11、90:11、申 28:15、ロマ 1:18）。このように、この地での苦い実は、みな原罪から来ます。従って人は、神の怒りと呪いから避ける道を

探さなければなりません。

この地において悲惨な生活に置かれている

この地での生活にある、あらゆる悲惨が原罪から来ることです。それは体と関連したことです。聖書では公開的な場合、また、一般的な災いなどを語っています。つまり、伝染病、飢饉、戦争です（エゼキエル 3:17）。時には、人が病気にかかることと、不名誉な苦しみなどと、関係の喪失などを悲惨とも言えます（申 28:22, 30, 37）。霊魂と関連する悲惨には、心の闇（エペソ 4:18）、喪失された心（ロマ 1:28）、混沌の状態（Ⅱテサロニケ 2:11）があります。そして、かたくなな心（ロマ 2:5）、良心を脅えさせる恐怖（イザヤ 33:14、創 4:13、マタイ 27:14）、汚い肉欲の状態（ロマ 1:26）にあるのも、霊魂と関連する悲惨さです。

死の下に置かれている

墮落した人生が、この地において最後に受ける刑罰は死、そのものです（ロマ 5:12）。死は、罪の効果として臨まれます。死は、体と霊魂の分離をもたらします（ヘブル 9:27、ロマ 6:23、エゼキエル 18:4）。勿論、死は、義人と悪人と同じに臨まれるが、その目的は明白に異なります。信者の死は、キリストが与える有益によって、この地での悲惨さから解放されて、神の栄光に入っていく入口となります。しかし、悪人と未信者の死は、恐ろしい刑罰です。彼らの死は、最も大きな苦しみに入っていく入口となります。

地獄と罪の定めの下に置かれている

悔い改めないなら、人は皆、地獄と断罪の定めに至るようになっています。地獄は、神の慈悲がなく、審判のみあるところです。終わりのない怒りの火花と、

報復の海の中にいることです。このような地獄の苦しみは永遠に続きます。地獄は、夜も昼も安らぎが決してない所、体と靈魂の苦しみは永遠です。このような悲惨さは原罪から来ています。このような悲惨から避けられる道は、悔い改めと、ただ、キリストに出て行く道しかありません。罪の問題を解決しなければならないですが、その恵みは、キリストのうちにのみあります。